山形大学
Yamagata University

学長定例記者会見要項

日　　時：　令和４年８月４日（木）　１１：００～１１：４５
場　　所：　法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟３階）

発表事項

1．地域共創 STEAM 教育推進センター設立～地域の子どもたちに多様な「知」を直に届ける開かれた大学へ～

2．第 15 回山形大学高校生朗読コンクール 本選出場者が決定しました

3．蔵王山の噴火履歴の解明を目的としたボーリング掘削調査

4．戦時下の蔵王・山形　～観光パンフレット・慰問用の山形方言の絵葉書が見つかりました～

お知らせ

1．３年ぶりにアフリカ農業従事者の来日研修が山形大学農学部で開始

2．『哺乳類学』の出版について

3．公開講座「国民国家を考え直す」～ナショナリズムと多文化共生は両立できるのか?～

4．公開講座「3D計測入門講座」～3D計測技術の習得や、3Dの活用方法を考える体験型講座～

5．ソプラノ歌手の中江早希氏による公開講座を行います～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～

（参　考）
○ 次回の学長定例記者会見（予定）
日　時：令和４年９月８日（木）１１：００～１１：４５
場　所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟３階）

学長定例記者会見（８月４日）発表

１．地域共創 STEAM 教育推進センター設立～地域の子どもたちに多様な「知」を直に届ける開かれた大学へ～

地域共創 STEAM 教育推進センター長・山形大学副学長（社会共創担当）　大森（おおもり）　桂（かつら）

地域共創 STEAM 教育推進センター副センター長　並河（なびか）　英紀（ひでき）

地域共創 STEAM 教育推進センター統括責任者　栗山（くりやま）　恭直（やすなお）

地域共創 STEAM 教育推進センターコーディネーター　中村（なかむら）　夢奈（ゆめな）

２．第 15 回山形大学高校生朗読コンクール 本選出場者が決定しました

学術研究院　教授（日本文学）　山本（やまもと）　陽史（はるふみ）

農学部　１年　佐藤（さとう）　圭（けい）

農学部　１年　庄司（しょうじ）　琉倭（るい）

３．蔵王山の噴火履歴の解明を目的としたボーリング掘削調査

学術研究院教授（理学部主担当）　伴（ばん）　雅雄（まさお）

４．戦時下の蔵王・山形　～観光パンフレット・慰問用の山形方言の絵葉書が見つかりました～

山形大学蔵王樹氷火山総合研究所 副所長　柳澤（やなぎさわ）　文孝（ふみたか）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和４年（2022年）８月４日

地域共創STEAM教育推進センター設立

～地域の子どもたちに多様な「知」を直に届ける開かれた大学へ～

【本件のポイント】

- イノベーションコモンズ（共創拠点）となることを目指す山形大学では、地域の子どもたちに多彩なSTEAM教育を提供するセンターを始動する。
- 地域共創STEAM教育推進センターは愛称を『YU★STEAM（ワイユースティーム）』とし、地域のニーズに合わせて山形大学の施設や知のリソースを活用し、最先端の教育を提供していく。
- 今回、当センターと子どもたちの架け橋になってもらう公式キャラクターの一般公募を行う。10月に最優秀賞を発表し、11月に行うYU★STEAM KIDS WEEKと題した子ども向けのイベントから活用していく。

【概要】

「つなぐちから。山形大学」をビジョンに掲げる山形大学では、『地域のこどもたちに多様な知（STEAM 教育）を直に届ける開かれた大学へ』をミッションとした地域共創 STEAM 教育推進センターを令和４年度に設立しました。山形大学の最先端の施設や研究成果を活用し、山形の子どもたち誰もが豊かな学びへアクセスできる機会を創り出すとともに、子どもたちが未来を生き抜く力を高めるきっかけを多彩に提供するセンターをめざします。

当センターは、地域からの STEAM 教育に関する様々なニーズにワンストップで対応できる気軽な窓口を設け、子ども向けの出前講義やイベントの開催、各種学校段階における探究学習や教員研修のサポートなども幅広く行います。子どもたちの興味・関心の向上を目的とした自由な発想力を育てるプログラムや、一人一人の課題解決力を育てるプログラムの他、大学生を対象に将来の教育現場で必要となる実践的スキルを学修する環境も提供していきます。なお、当センターの愛称を『YU★STEAM（ワイユー　スティーム）』として発進するとともに、センターのロゴを今回お披露目します。

現在、当センターと子どもたちの架け橋になってもらう公式キャラクターを一般公募しています。最優秀賞を公式キャラクターとして採用し、11 月からスタートする YU★STEAM KIDS WEEK と題したさまざまな子ども向けのイベントの中で活躍してもらいます。多数のご応募を心よりお待ちしております！

【YU★STEAMキャラクターコンクールについて】

- ■ 応募締切：2022 年 9 月 5 日（月）12:00 必着
- ■ 応募方法：メールの件名を「（提出）YU★STEAM キャラクター」とし、本文に、①名前（ふりがな）、②年齢、③住所、④連絡先電話番号、⑤キャラクターの名前、⑥キャラクターの性格（100 字以内）を記載の上、センターのメールアドレス（yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp）へ画像ファイルを添付して送信
- ■ 詳細は下の QR コードよりご確認ください。

※用語解説

１．STEAM 教育：**S**cience・**T**echnology・**E**ngineering・**A**rt・**M**athematics 等の各教科での学習を実社会での問題発見・課題解決に生かしていくための分野横断的な教育。令和元年５月より文部科学省が推進している。

お問い合わせ
地域共創 STEAM 教育推進センター（YU★STEAM）
TEL　023-628-4506（SCITA センター内）
メール　yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【山形大学地域共創 STEAM 教育推進センター運用イメージ図】

地域共創STEAM教育推進センター

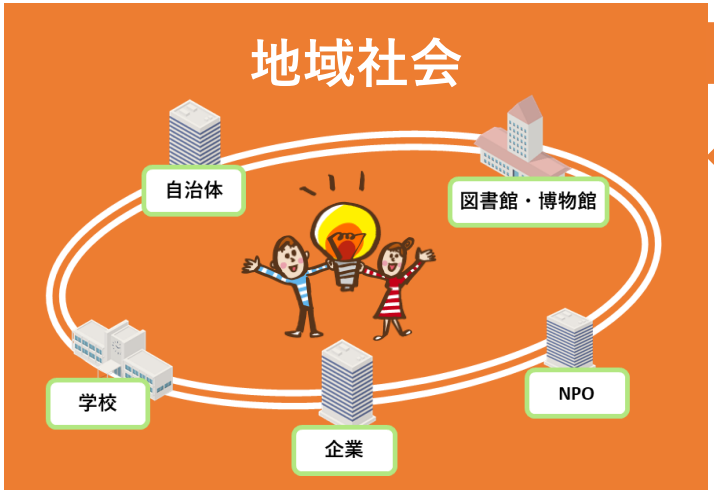
（YU★STEAM）

問合せ先：yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp ／ HP：http://yu-steam.com/

山形大学 Yamagata University

地域の子どもたちに多様な「知（STEAM教育）」を直に届ける開かれた大学へ

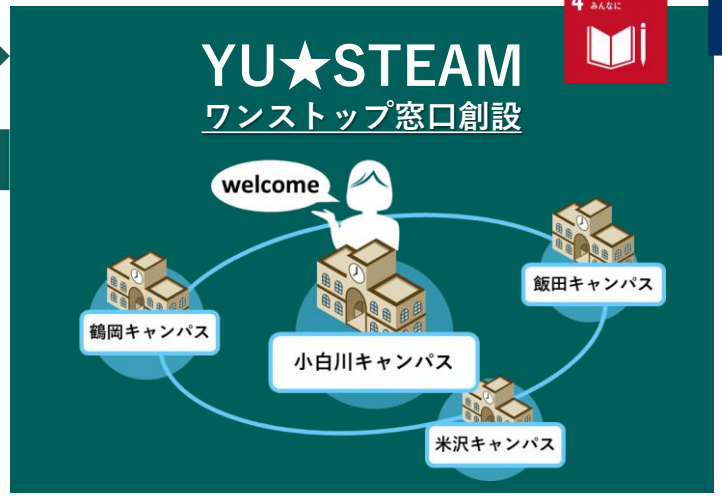
『山形の子供たちだれもが豊かな学びへアクセスできるように』
『拡散的思考力と課題解決力を高めて未来を生き抜く力を子どもたちへ』
『学びに地域的ハンディキャップのない山形へ』



① ニーズの提案

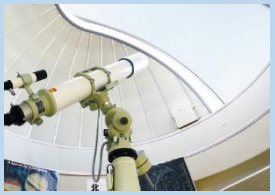
② ニーズに沿って提供

- 講義やイベント共催
- ICTコンテンツ開発
- 探究学習サポート
- 教員研修や共同研究
- 気軽な相談窓口



利用できる施設例

附属博物館


ニクニドームやまがた

協同研究用シェアオフィス

データサイエンス教育研究推進センター

科学普及拠点 SCITAセンター

附属図書館

開拓 初等教育部門

興味開拓型プログラム

興味・関心の向上と拡散思考力の育成

例）ドローン教室・ヤマガタステムアカデミー

成長 中等教育部門

探究活動型プログラム

拡散思考力の向上と個々の課題解決能力の育成

例）芸術文化創生プログラム

ヤマガタ夢☆未来 Girls プロジェクト

実践 大学生

実践型授業

指導者への実践的スキルの向上

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和4年（2022年）8月4日

第１５回山形大学高校生朗読コンクール
本選出場者が決定しました

【本件のポイント】

●第１５回山形大学高校生朗読コンクールは、東北地区の高校生４８名（青森・宮城・山形・福島４県の１３校）からの応募があり、本選出場者１５名が決定しました。

●本選の朗読については、本学学生が動画コンテンツを制作し、YouTube山形大学公式チャンネルによる公開を予定しています。

【概要】

山形大学は「山形大学地域指向性向上プロジェクト」として、地域社会との連携をより深める事を目的に、第１５回山形大学高校生朗読コンクールを開催しております。本コンクールの企画・運営は、基盤共通教育「イベントマネジメントとプレゼンでみがく社会人基礎力」（担当教員：山本陽史）を受講する本学学生が授業の一環として行い、YouTube の動画撮影・編集は山形大学放送研究会の学生に協力してもらい実施しております。

第１５回山形大学高校生朗読コンクールは東北地区の高校生４８名（１３校）からの応募があり、山形大学教員からなる予選審査委員会の選考により本選出場者１５名が決定しました。

本選出場者１５名が、宮沢賢治著『風の又三郎』から、それぞれ異なる部分を朗読し、上位３名を山形大学学長賞として表彰します。

【本選について】

開催方法　　：録音審査　※本選の朗読については、YouTube 山形大学公式チャンネルによる公開を予定しています。

スケジュール：８月２６日（金）　　本選課題録音データの提出締切
　　９月中　　本選審査・YouTube 動画作成
　　９月３０日（金）（予定）本選結果の通知

表彰　　：本選の上位３名を山形大学学長賞として表彰します（表彰者へは、賞状等の記念品を進呈いたします）。

（本選の YouTube による公開について）

本選については、本選出場者の活躍を多くの方々にご覧いただきたく、動画作成・編集後、YouTube 山形大学公式チャンネルによる一般公開を予定しています（第三者が評価やコメント等に機能を利用できない設定で公開します）。

第１５回山形大学高校生朗読コンクール
本選出場者（五十音順・敬称略）

1.	山形県立山形西高等学校	會田 涼花	9.	宮城県名取高等学校	七戸　菜々子
2.	山形県立山形西高等学校	浅野目　真緒	10.	聖ウルスラ学院英智高等学校	菅井　実理
3.	山形県立寒河江高等学校	安達　奈々美	11.	宮城県仙台三桜高等学校	千葉　薫子
4.	山形学院高等学校	奥山　南美	12.	宮城県仙台三桜高等学校	水野　利英
5.	青森県立五所川原高等学校	加福　尚央	13.	山形学院高等学校	元木　亜弥菜
6.	山形県立山形西高等学校	輕部　花れん	14.	山形県立酒田東高等学校	渡部　美聖
7.	山形県立山形西高等学校	齋藤　愛華	15.	山形県立高畠高等学校	渡部　優
8.	聖ウルスラ学院英智高等学校	斎藤　せり			

課題文　：　宮沢賢治著『風の又三郎』（出場者が各担当部分をそれぞれ朗読します。）

（お問い合わせ）山形大学研究部　産学・地域連携課
電話：023-628-4844　　FAX：023-628-4849
Ｅメール：yu-k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

【背景】

山形大学は、平成 20 年度から東北地方の高校生を対象に山形大学高校生朗読コンクールを実施してきました。平成 24 年度から、東日本大震災により地域が分断された東北に、文化によるネットワークを構築することを目的に、山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」として、高校生朗読コンクールと同時に群読劇を開催してきました。平成 30 年度より地域社会との連携をより深める事を目的に、プロジェクト名を「山形大学地域指向性向上プロジェクト」に一新して、実施しています。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

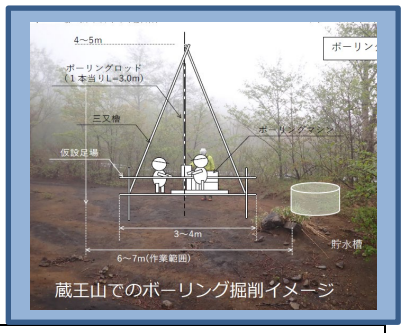
山形大学
Yamagata University

令和4年（2022年）8月4日

蔵王山の噴火履歴の解明を目的としたボーリング掘削調査

【本件のポイント】

- 蔵王山中腹でボーリング掘削を行い、過去約３．５万年間の噴火堆積物の調査を行う。
- 本事業は文科省の次世代火山研究プロジェクトの一環として行われる。
- 蔵王山の過去約３．５万年間の噴火履歴が完成する見込みである。蔵王山の今後の噴火災害軽減に大きく寄与することになる。



蔵王山でのボーリング掘削イメージ

【概要】

蔵王山は、東北地方太平洋沖地震の後に噴火の前兆現象が認められ、それは現在も断続しており、今後の活動が注視されている。このような状況の下、蔵王山の過去の噴火履歴を詳しく解明しておくことは、今後の活動を推測し噴火災害の軽減に資する上で極めて重要である。

蔵王山の最新期活動は約３．５万年前に始まる。その後多数回の噴火を起こしてきた。このように長い期間にわたって活動を継続している火山において噴火履歴を解明するためには、地層に残る過去の噴火堆積物を調査する必要がある。本研究では、ボーリング掘削を行うことによって地下に存在する地層の情報を読み解き、蔵王山の噴火履歴解明することを目的とするものである。

【背景】

２０１４年に御嶽山が噴火し、多くの人々が犠牲になった。これを契機に、文部科学省は火山噴火に対する減災防災対策に貢献する「次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト」を平成 28 年に発足させている。

そのプロジェクトの課題研究のひとつである「噴火履歴調査による火山噴火の中長期予測と噴火推移調査に基づく噴火事象系統樹の作成」では、全国の主要な活火山の噴火履歴と個々の噴火推移の再検討を行っている。蔵王山は、この課題研究において研究を実施する火山のひとつに選定されており、山形大学のマグマ学・火山学クラスターや蔵王樹氷火山総合研究所が中心になって研究が進められている。蔵王山には山頂に火口湖である御釜が存在し、その最新の噴火は 1895 年に発生している。東北地方太平洋沖地震の後に噴火の前兆現象が認められ、今後の噴火が危ぶまれる火山の一つである。

【研究手法・研究成果】

過去の噴火によって形成された地層の観察、採取した試料の各種分析を行うことにより、どのような噴火が・どのくらいの頻度で起こってきたのか、また各噴火の推移はどのようであったかを推定することができる。山形大学は、蔵王山の過去約３．５万年間の噴火堆積物について、地表に露出している地層の調査を基に多くを明らかにしてきた。しかし、山体の中腹では地表に露出している箇所が極めて少なく、調査に困難を来していた。そこで、目的の地層が地下に存在していると予想される地点でボーリング掘削を基に調査・研究を行う。中腹での調査・研究が進めば、噴火堆積物種類や噴火頻度、また代表的な噴火の推移が精度良く解明されることになる。

【今後の展望】

本研究の調査・研究によって解明される、蔵王山の過去約３．５万年間の噴火の種類や発生頻度の推移、また代表的な噴火についての噴火推移が解明されれば、その情報を基にした今後の噴火による災害予測及びその軽減方法の検討が促進されることが期待される。例えば、噴火の推移やそれに伴う影響範囲が精度良く推定できれば、噴火の進行に伴う避難計画もより具体的に進めることができる。このように本研究の成果は噴火災害の軽減に大きく寄与することが期待される。

お問い合わせ
学術研究院教授　伴雅雄（火山学）／理学部主担当
TEL　023-628-4642　　メール ban@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

火山の未来を観る

次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト

Integrated Program for Next Generation Volcano Research and Human Resource Development

Japan Volcanological Data Network

蔵王山も重点火山に

課題C：火山噴火の予測技術の開発

C-1共同実施機関
噴火事象分岐予測手法の開発
東京大学地震研究所
ほか6参加機関　・1協力機関

課題C責任機関
C-2実施責任機関
中長期噴火予測と噴火事象系統樹の作成
北海道大学
ほか7参加機関　・4協力機関

C-3共同実施機関
噴火ハザード予測手法の開発
防災科学技術研究所
ほか2参加機関　・3協力機関

データ成果の一元化

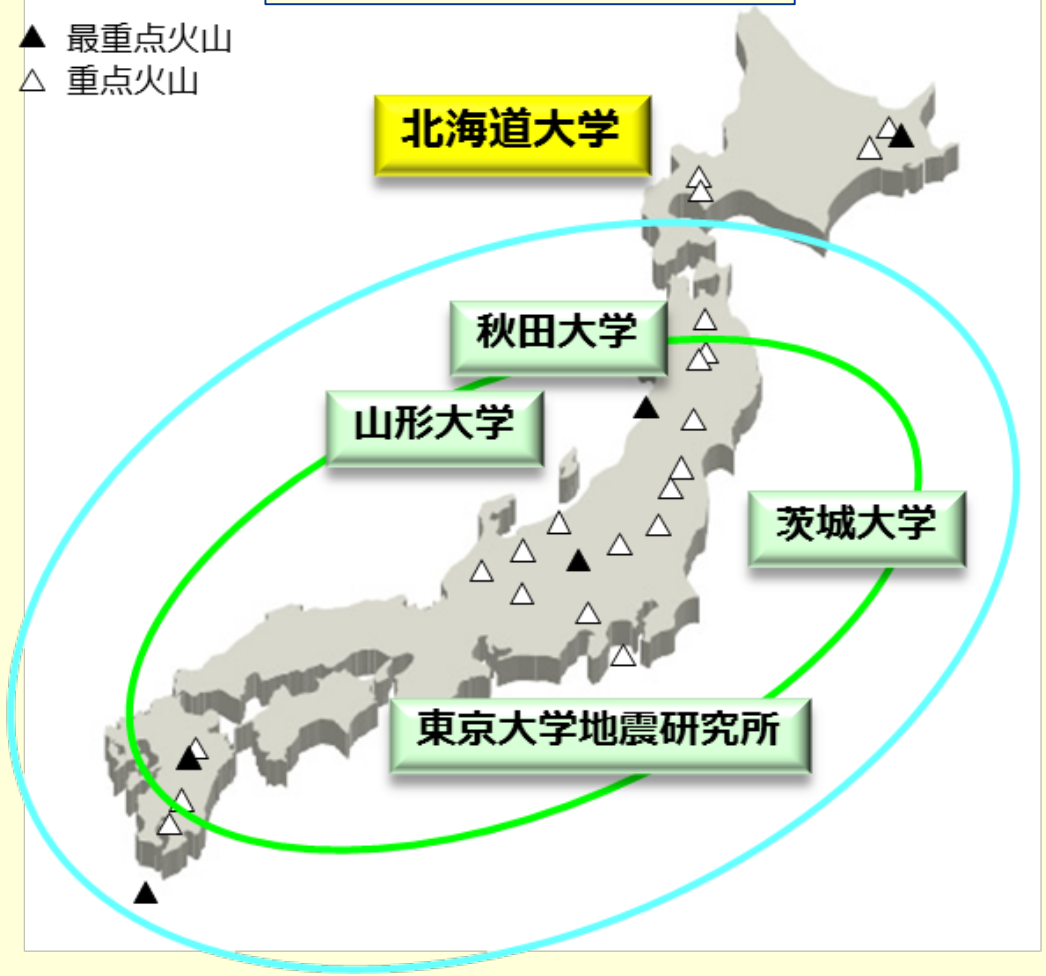
データ連携・観測情報の共有

課題A:各種観測データの一元化

課題B：先端的な火山観測技術の開発

課題D：火山災害対策技術の開発

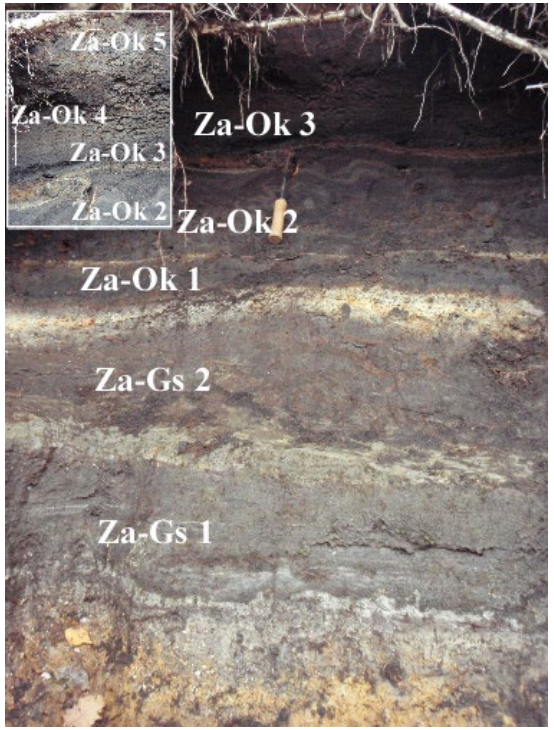
C-2 事業・課題の実施体制



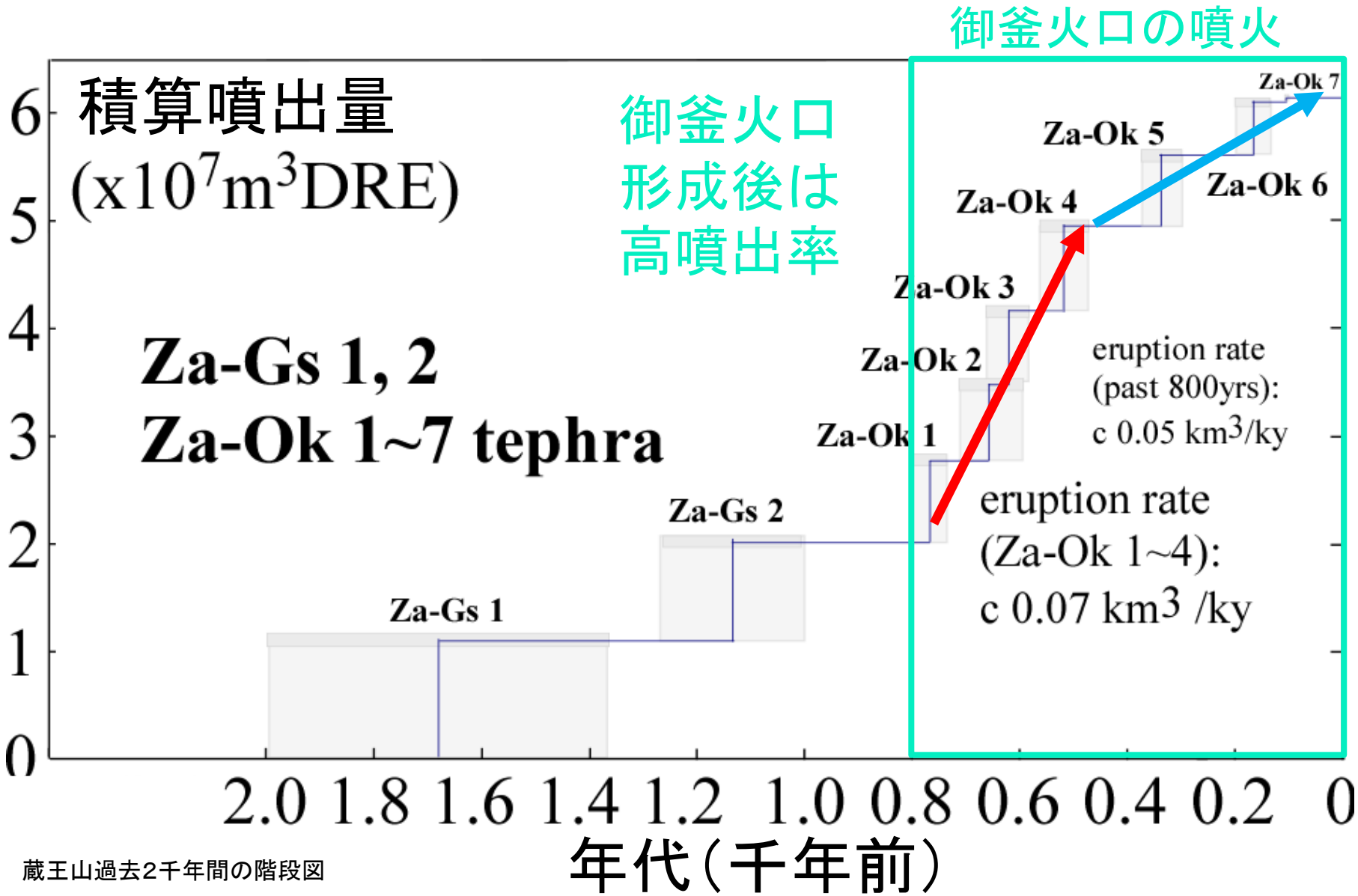
重点火山　蔵王山

地層を調べる
→過去の噴火の規模と特性　⇒ハザードマップ
→噴火の変遷、噴火の推移　⇒噴火予測

蔵王山御釜が火口になったのは西暦1200年頃



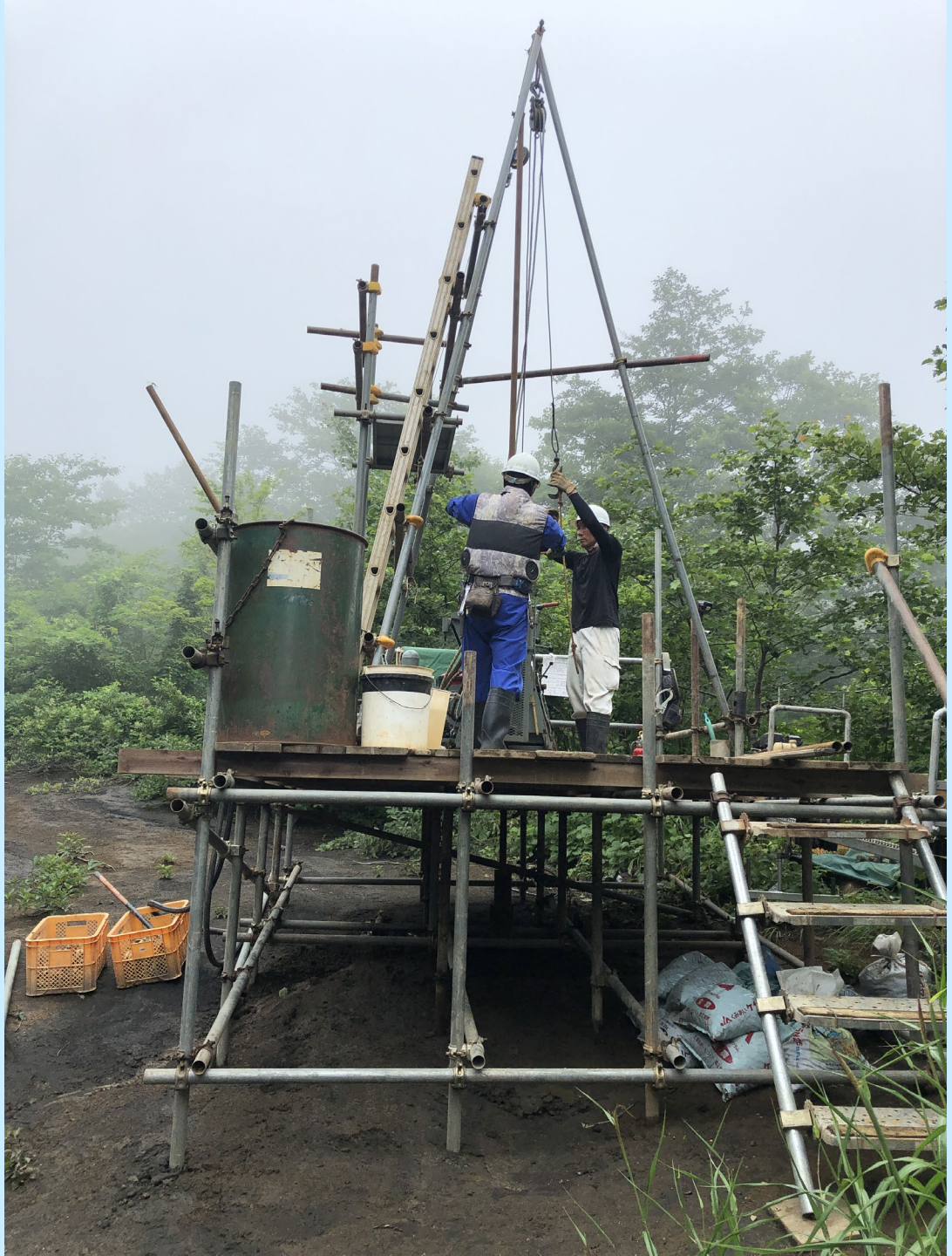
蔵王山御釜噴出物の近傍相の例



蔵王山過去2千年間の階段図

ボーリング掘削地点

蔵王山
五色岳
刈田岳
蔵王エコーライン
すみかわゲレンデ
すみかわスノーパーク
あとみゲレンデ
三階の滝
宮城蔵王野鳥の森



戚王 B-1
戚王 B-1

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和４年（2022年）８月４日

戦時下の蔵王・山形
～　観光パンフレット・慰問用の山形方言の絵葉書が見つかりました　～

【本件のポイント】

- 昭和19年2月に蔵王で撮影されたスキー登山する観光客の写真が見つかりました。
- 戦時中に観光客を誘致する目的で作られた観光パンフレットが見つかりました。
- 戦時中に観光客用に作られた絵葉書、慰問用に作られた山形方言の絵葉書が見つかりました。

山形方言の会話文絵葉書（慰問用）

【概要】

戦時中、蔵王に観光客が来ていたといわれていましたが実態は不明でした。樹氷の変遷を調べるために収集している資料から、昭和19年2月3日に蔵王にスキー登山する写真、観光客を誘致するためのパンフレットが見つかりました。パンフレットの内容は戦前と同じですが、表紙・裏表紙に軍事標語が書かれています。また、吉野屋絵葉書店によって作られた、観光客用の絵葉書、慰問用の山形・上山・仙台方言の会話文絵葉書が見つかりました。

【１．観光パンフレット】

伊東五郎著の「蔵王五十年の歩みとスキーの発達（1962年）」によりますと、「戦争益々苛烈深刻の度を加え、重なる召集、出征、戦死、加うるに食糧事情愈困窮に達し、長途の旅行に依る汽車の混雑、スキーの持込等容易ならざる状況に立ち至り、スキー客誘致等は到底望めなかった。・・・十九年七月には東京疎開学童の受入等の多忙さ、各家庭に於ける働き手の三十歳前後の青年は殆んど動員、全く闇黒状態が続いた。然し都会の繁雑さを一時たりともがれようとしたのか中央からのスキー客も年末年始休暇には少ないながらあった。」とされています。図１は、昭和19年1月30日から2月3日かけて平山栄伸氏と長澤壽三(利彦)氏よって撮影された蔵王の写真です。樹氷原を列を作って進んでいく人たちが写っています。また、観光客を誘致する目的で観光パンフレットが見つかりました（図２－図５）。記載内容は戦前とほぼ同じですが、表紙・裏表紙に体位向上や軍事標語が書かれている点が大きな違いです

【２．慰問用に作られた山形方言の絵葉書】

戦時中に吉野屋絵葉書店（山形市）が作成した蔵王や山形を題材とした絵葉書が10組以上見つかっています。戦時中の絵葉書は紙質が悪く、封筒は薄手です。また、葉書には特高課検閲済・軍事標語などが書かれていたり、切手添付欄が「一億一心」となっています。題材は蔵王の樹氷・護国神社・千歳山など山形の有名観光地や、サクランボなどの名産品などです。写真は戦前に撮影されたものの再利用ですが、写真の説明の他に山形方言による会話や小唄・童謡が書かれたものが多くあることが戦前との相違です。絵葉書の中から、慰問と書かれているものが2組見つかりました（図６－図７）。郵便や慰問袋で戦地に送ったと考えられます。方言による会話文や観光地・名産品によって、山形を思い出すことができたと思われます。なお、吉野屋絵葉書店が作成した戦時中の絵葉書から、上山ことば（図８）、仙台ことば（図９）の会話文絵葉書も見つかりました。

（お問合せ先）
山形大学蔵王樹氷火山総合研究所　副所長
山形大学名誉教授　柳澤文孝（環境科学）
メール　icemonster.white@gmail.com

図１　昭和19年2月3日の蔵王（撮影：平山栄伸氏・長澤壽三(利彦)氏）

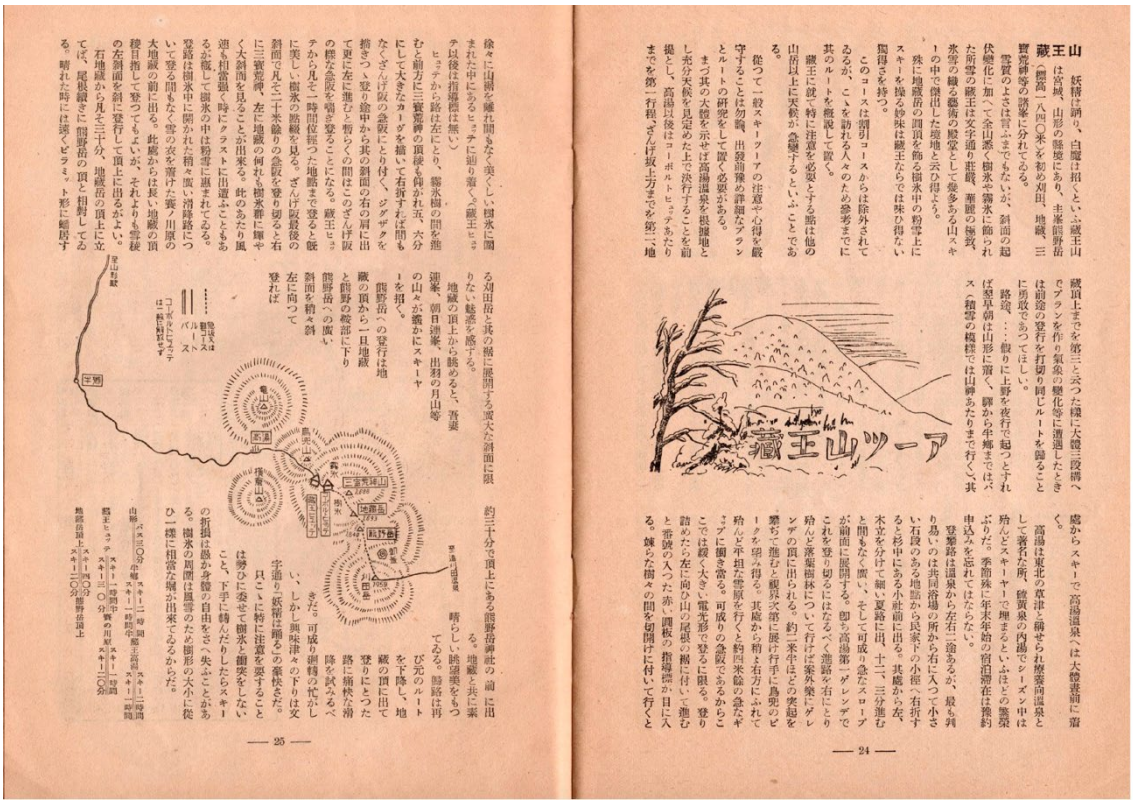


図２　「体位向上　銃後の備へ：国民総動員」（東京鉄道局）

図３　「山形の温泉　並スキー場：国民精神総動員」（山形県観光協会）

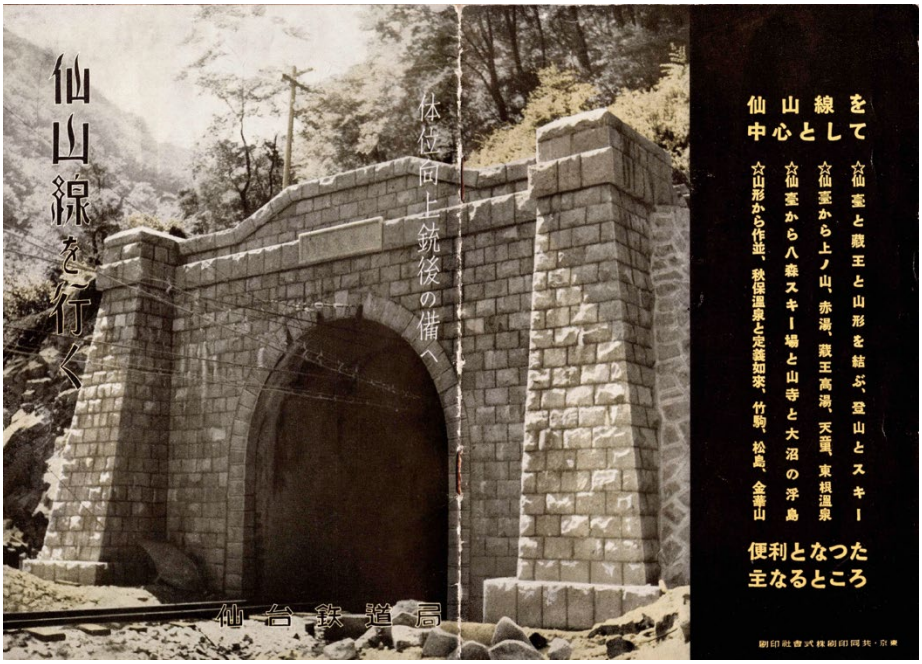


図４　「仙山線を行く：体位向上銃後の備へ」（仙台鉄道局）

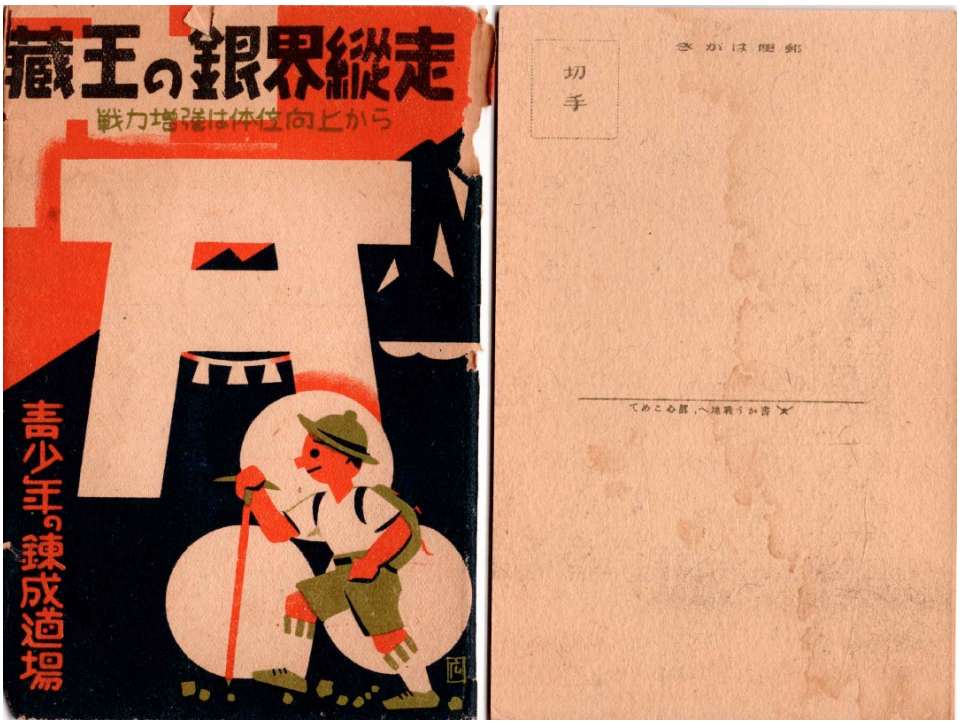


図５　絵葉書「蔵王の銀界縦走　戦力増強は体位の向上から　青少年の錬成道場」

図６　慰問のお便りは　山縣方言集で（吉野屋絵葉書店　山形市）

図７　山形県の風俗をたづねろ（郷土人形）・・四銭貼つて戦線の御慰問に（吉野屋絵葉書店　山形市）

図８　上の山ことば（吉野屋絵葉書店　山形市）

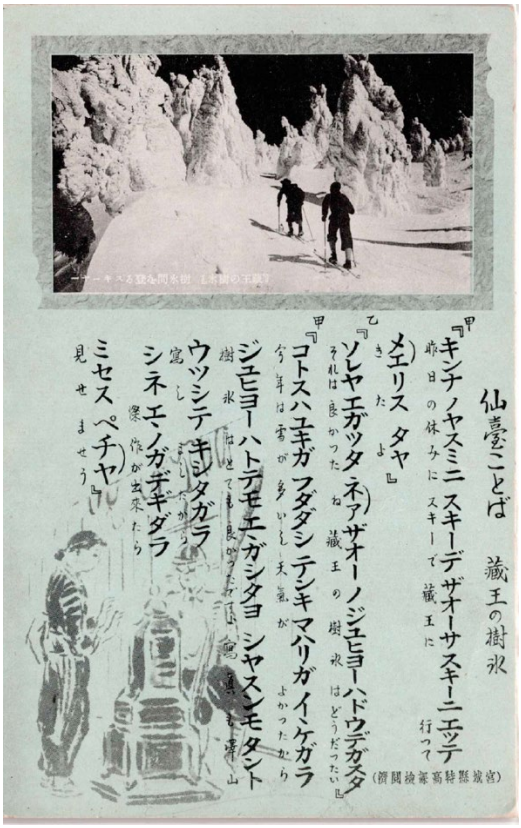


図９　仙台ことば（吉野屋絵葉書店　山形市）

プレス通知資料（概 要）

山形大学 Yamagata University

令和４年(2022 年)8 月４日
山　　形　　大　　学

＊詳細は別添の資料をご覧ください。

１．３年ぶりにアフリカ農業従事者の来日研修が山形大学農学部で開始

令和４年８月２２日（月）からアフリカ各国の研修生２２名が本学農学部で開講する『アフリカ地域稲作収穫後処理コース』研修を受講します。本研修は山形県、鶴岡市、JA鶴岡、秋田県大潟村の協力を得て、稲作における収穫処理や栽培技術の学習に加え、稲刈りや籾摺り・品質検査などの実習、乾燥貯蔵施設、農業機械工場、灌漑施設の見学を行います。

研修期間 ： 令和４年８月22日（月）～９月30日（金）
参加国　 ： エチオピア、ガーナ、ガボン、カメルーン、ギニア、コートジボワール、シオラレオネ、スーダン、セネガル、ニジェール、ブルンジ、ベナン、マダガスカル、リベリア
使用言語 ： 英語・フランス語
コーディネーター ： 片平 光彦 教授（農業機械学）、角田 憲一 准教授（土壌・肥料学）、佐々木 由佳准教授（栽培土壌学）、小林 隆　准教授（植物病理学）

２．『哺乳類学』の出版について

過去20年間の新たな研究成果をもとに、哺乳類学の「到達点」を学ぶための新しい教科書が出版されました。

３．公開講座「国民国家を考え直す」～ナショナリズムと多文化共生は両立できるのか?～

近代国民国家形成の歴史を制度と文化の両側面から再検討するとともに、複数の事例を通して多文化共生論の課題と可能性を探る、人文社会科学部の公開講座を開催します。

【開催要項】

日　時／第１回： ９月13日（火）　天野尚樹 准教授（専門 ロシア史・境界政治史）
第２回： ９月20日（火）　小幡圭祐 准教授（専門 日本近代史）
第３回： ９月27日（火）　今村真央 教授（専門 東南アジア史）
第４回：10月　４日（火）　源島穣 講師（専門 行政学・福祉国家論・現代イギリス政治）
第５回：10月11日（火）　丸山政己 准教授（専門 国際法）
※講義時間は全て18:30～20:10　※全員が人文社会科学部 主担当
会　場 ／ 山形大学小白川キャンパス人文社会科学部１号館103教室およびオンライン(Zoom ウェビナー)
受講料 ／ 2,000円 ※支払い時、別途手数料（275円）がかかります。 ※学生（高校生以上）は無料
対　象 ／ 一般・学生（高校生以上）
定　員 ／ 対面は60人
申し込み ／ 下記のホームページよりお申込みください（申込締切：９月８日（木））
https://www.y-ex.jp/extension/post-31.html

４．公開講座「3D計測入門講座」～3D計測技術の習得や、3Dの活用方法を考える体験型講座～

近年、進展が目覚ましく、利用も多岐にわたる三次元計測技術。演習を通して、3D 計測技術の習得を目指す公開講座を開催します。

【開催要項】

日　時 ／ ９月24日（土）10:00～16:00
会　場 ／ 山形大学小白川キャンパス基盤教育１号館111教室
受講料 ／ 2,000円 ※支払い手数料（275円）込み ※学生（大学生・大学院生・専門学校生）は無料
対　象 ／ 一般・大学生・大学院生
定　員 ／ 21名
申し込み ／下記のホームページよりお申込みください（申込締切：９月15日（木））
https://www.y-ex.jp/extension/post-32.html

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和4（2022）年8月4日

3年ぶりにアフリカ農業従事者の来日研修が山形大学農学部で開始

【本件のポイント】

- アフリカの稲作技術者に対して行う収穫後処理に関する研修
- 独立行政法人国際協力機構（JICA）と大学による研修事業で、稲作技術者を対象としたものは、国内で山形大学のみが実施

【概要】

令和4年8月２2日（月）からアフリカ各国の研修生22名が本学農学部で開講する『アフリカ地域稲作収穫後処理コース』研修を受講します。本研修は山形県、鶴岡市、JA鶴岡、秋田県大潟村の協力を得て、稲作における収穫処理や栽培技術の学習に加え、稲刈りや籾摺り・品質検査などの実習、乾燥貯蔵施設、農業機械工場、灌漑施設の見学を行います。
農学部では、独立行政法人国際協力機構（JICA）と共同でアフリカ諸国を対象とした米生産に関する様々な研修や現地指導を実施してきました。今年は2年ぶりに対面での研修を実施し、研修最終日に各研修生がそれぞれの国が抱える稲作の収穫後処理に関する課題改善と技術普及プランの発表を行います。

【背景】

アフリカ開発会議（TICAD）において、日本政府はアフリカ諸国の稲作発展に貢献することを約束しています。このような背景のもとで、本学農学部と独立行政法人国際協力機構(JICA）は、平成20年からアフリカ諸国を対象にした米生産に関するさまざまな技術研修と現地指導を実施してきました。現在、稲作技術者を対象としたJICAと大学による研修事業は国内で山形大学のみが実施しています。

【研修スケジュール等】

★研修期間 ： 令和４年８月２2日（月）～９月30日（金）

★参加国 ： エチオピア、ガーナ、ガボン、カメルーン、ギニア、コートジボワール、シオラレオネ、スーダン、セネガル、ニジェール、ブルンジ、ベナン、マダガスカル、リベリア

★使用言語 ： 英語・フランス語

★コーディネーター ： 片平 光彦 教授（農業機械学）、角田 憲一 准教授（土壌・肥料学）、佐々木 由佳 准教授（栽培土壌学）、小林 隆　准教授（植物病理学）

【今後の展望】

本学で得られた稲作での収穫後処理に関する知識や技術は、アフリカの多くの国々へと広がっています。山形大学では今後もこの研修事業を継続することで、アフリカの稲作発展に対して貢献していきたいと考えています。

お問い合わせ
学術研究院教授 片平 光彦（農学部担当）／農学部研究・社会共創室担当　折原、内田
TEL　0235-28-2910　　メール yu-nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

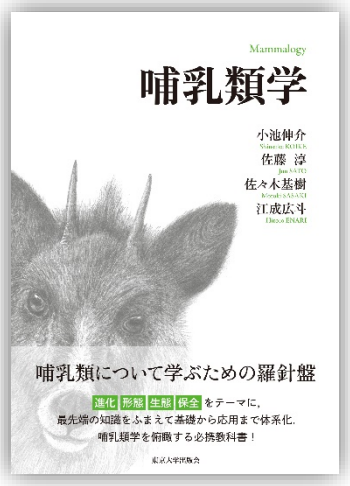
PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和4年（2022年）8月4日

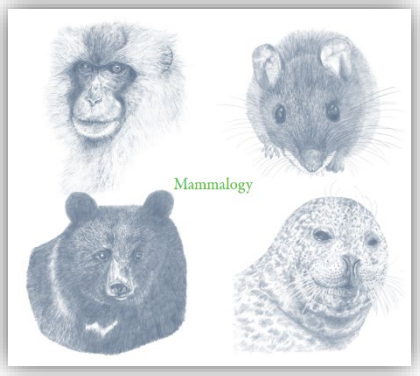
『哺乳類学』の出版について

【本件のポイント】



- 過去20年間の新たな研究成果をもとに、哺乳類学の「到達点」を学ぶための新しい教科書が出版された。日本の研究事例がふんだんに盛り込まれていることが特徴で、より身近な事例から、哺乳類学を体系的に学ぶことができる。
- 本書は各分野を牽引する研究者により執筆され、これまでも哺乳類学でカバーされてきた「進化・形態・生態」分野だけでなく、「保全」に関する知見も体系化し、哺乳類学に位置づけたことも特徴である（保全に関連する4つの章は山形大学・江成が執筆）。
- 種の絶滅・外来種問題・獣害問題に例示されるように、哺乳類の「保全」に対する関心は、専門家だけでなく、市民レベルでも高まっている。本書は学術書として哺乳類学を扱う教育研究活動の現場で活用できるだけでなく、哺乳類に関心を持つ市民にも還元できる有用な情報が満載である。

【概要】



本書「哺乳類学」は、**これから哺乳類学を学びたいと考えるすべての人たちに向けた羅針盤として執筆された新しい教科書**である。その内容は、近年飛躍的な発展を遂げる測定・分析技術を活用することで、理解が急速に深まりつつある「進化・形態・生態」といった基礎科学としての哺乳類学の最新知見に留まらず、あらたに「保全」にも及ぶ。人間活動の拡大/縮小に起因する、人と哺乳類との軋轢（農業被害問題、種の絶滅、外来種問題）に例示されるように、哺乳類の「保全」に関連する諸問題は、もはや科学者・専門家だけでなく、市民の日常にもかかわる関心事となっている。「保全」を、哺乳類学に新たに位置づけることで、過去の類書にはない、異分野間の有機的な連携・融合による新たな哺乳類学を本書は提示する。

本書は哺乳類学を学ぶための学術書として、様々な教育研究活動の現場で活用できるだけでなく、哺乳類に興味・関心を持つ幅広い市民にも還元できる実践的な情報も盛り込まれている。

『哺乳類学』小池伸介・佐藤淳・佐々木基樹・江成広斗（著）、東京大学出版会．発売日：2022 年 7 月 21 日

第 I 部　進化（佐藤　淳　福山大学）
　第 1 章 起源と進化、第 2 章 分子進化、第 3 章 日本の哺乳類、第 4 章 テクノロジーと進化哺乳類学
第 II 部　形態（佐々木基樹　帯広畜産大学）
　第 5 章 外部形態と骨格、第 6 章 生命維持器官、第 7 章 泌尿生殖器、第 8 章 形態適応
第 III 部　生態（小池伸介　東京農工大学）
　第 9 章 採食、第 10 章 生息地、第 11 章 個体群、第 12 章 群集
第 IV 部　保全（江成広斗　山形大学）
　第 13 章 科学と規範としての保全、第 14 章 外来種の管理、第 15 章 絶滅危惧種の保全、
　第 16 章 普通種の保全

お問い合わせ
学術研究院 教授　江成広斗（森林動物管理学/農学部担当）
TEL　0235-28-2925　　メール enari@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和4年（2022年）8月4日

公開講座「国民国家を考え直す」

～ナショナリズムと多文化共生は両立できるのか?～

【本件のポイント】

- 世界各地で民族紛争や国境紛争が絶えません。その背景には、国家モデルが抱える構造的な問題があります。
- 近代国民国家形成の歴史を制度と文化の両側面から再検討するとともに、複数の事例を通して多文化共生論の課題と可能性を探る、人文社会科学部の公開講座です。
- 講師は本学人文社会科学部の、歴史や法律、政治など様々な専門領域の教員5名が担当します。対面とオンラインで開講し、見逃し配信も行います。

【概要】

世界各地で民族紛争や国境紛争が絶えません。その背景には、国民国家（ネーションステート）という国家モデルが抱える構造的な問題があります。国民国家では、国民（ネーション）の同一性を強調する傾向が強く、しばしば文化的本質論や排他的ナショナリズムが生まれ、マジョリティとマイノリティの間、隣接する国々の間で民族主義的対立が起こります。それでは、国民国家はいかにして多民族、多言語、多宗教が共存する空間をつくることができるのでしょうか。本講座では、近代国民国家形成の歴史を制度と文化の両側面から再検討するとともに、複数の事例を通して多文化共生論の課題と可能性を探ります。

【開催要項】

日　時 ／ 第１回：９月 13 日（火）　天野尚樹 准教授（専門 ロシア史・境界政治史）
第２回：９月 20 日（火）　小幡圭祐 准教授（専門 日本近代史）
第３回：９月 27 日（火）　今村真央 教授（専門 東南アジア史）
第４回：10 月４日（火）　源島穣 講師（専門 行政学・福祉国家論・現代イギリス政治）
第５回：10 月 11 日（火）　丸山政己 准教授（専門 国際法）
※講義時間は全て 18:30～20:10　※全員が人文社会科学部 主担当

会　場 ／ 山形大学小白川キャンパス人文社会科学部１号館 103 教室
およびオンライン（Zoom ウェビナー）

受講料 ／ 2,000 円 ※支払い時、別途手数料（275 円）がかかります。 ※学生（高校生以上）は無料

対　象 ／ 一般・学生（高校生以上）

定　員 ／ 対面は 60 人

申し込み ／下記のホームページよりお申込みください（申込締切：９月８日（木））
https://www.y-ex.jp/extension/post-31.html

講座の内容に関するお問い合わせ
山形大学　学術研究院（人文社会科学部 主担当）
准教授 天野尚樹（ロシア史・境界政治史）
TEL 023-628-4278
メール amano@human.kj.yamagata-u.ac.jp
准教授 丸山政己（国際法）
TEL 023-628-4737
メール　maruyama@human.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年度 山形大学公開講座
【人文社会科学部】

国民国家を考え直す

ナショナリズムと多文化共生は両立できるのか？

世界各地で民族紛争や国境紛争が絶えません。その背景には、国家モデルが抱える構造的な問題があります。本講座では、近代国民国家形成の歴史を制度と文化の両側面から再検討するとともに、複数の事例を通して多文化共生論の課題と可能性を探ります。

講義時間／午後6時30分～午後8時10分（計5回）

第1回 9月13日（火）
ウクライナ人とウクライナ国家
:選択と失敗と誕生の30年
●天野 尚樹（ロシア史・境界政治史）

第2回 9月20日（火）
「日本人」のつくり方・つくられ方
●小幡 圭祐（日本近代史）

第3回 9月27日（火）
国民形成における
包摂と排除:ミャンマーの事例
●今村 真央（東南アジア史）

第4回 10月4日（火）
移民（課題）大国としての
イギリス:国家統合・社会統合の
失敗の観点から
●源島 穣（行政学・福祉国家論・現代イギリス政治）

第5回 10月11日（火）
国際法上の人民自決権・
国際人権法の可能性
—ひとつの解となりうるか?
●丸山 政己（国際法）

【会　場】山形大学小白川キャンパス
人文社会科学部1号館1階103教室
およびオンライン（Zoomウェビナー）
※見逃し配信あり

【受講料】2,000円
※お支払い時、別途手数料（275円）がかかります。※学生（高校生以上）は無料。

【対　象】一般・学生（対面は定員60人）
※学生は高校生以上対象。※会場内でのマスク着用やアルコール消毒など、新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。また、今後の状況により開催方法がオンラインに変更になる場合がございますので、ご了承ください。

◆申込方法
9月8日（木）までに、右記のURLもしくはQRコードから、パソコンやスマートフォンで専用フォームにアクセスをして、必要事項をご記入の上、送信してください。
▶https://www.y-ex.jp/extension/post-31.html

【山形大学エクステンションサービス推進本部】
023-628-4779
yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学
Yamagata University

令和4年度 山形大学公開講座
[人文社会科学部]

国民国家を考え直す

―ナショナリズムと多文化共生は両立できるのか?

世界各地で民族紛争や国境紛争が絶えません。その背景には、国民国家(ネーションステート)という国家モデルが抱える構造的な問題があります。国民国家では、国民(ネーション)の同一性を強調する傾向が強く、しばしば文化的本質論や排他的ナショナリズムが生まれ、マジョリティとマイノリティの間、隣接する国々の間で民族主義的対立が起こります。それでは、国民国家はいかにして多民族、多言語、多宗教が共存する空間をつくることができるのでしょうか? 本講座では、近代国民国家形成の歴史を制度と文化の両側面から再検討するとともに、複数の事例を通して多文化共生論の課題と可能性を探ります。

講義時間/午後6時30分~午後8時10分(計5回)

第1回 9月13日(火)
ウクライナ人とウクライナ国家:選択と失敗と誕生の30年
●天野 尚樹
(ロシア史・境界政治史)

ウクライナという国家は、ウクライナ民族が独立した国民国家(nation state)として自ら建設したわけではありません。ソ連解体によって、望まないまま国家として独立することになってからの30年間は、多様性に配慮したウクライナ国民国家と、排他的なウクライナ民族国家(national state)との間の選択の歴史でした。そしていま、そのどちらでもないウクライナ国民による国家が生まれつつあります。ソ連解体とロシア・ウクライナ戦争のつながりをウクライナ国家の建設過程から見渡します。

第2回 9月20日(火)
「日本人」のつくり方・つくられ方
●小幡 圭祐
(日本近代史)

現代の日本では、「在日」と呼ばれる人々や外国人技能実習生など、外国にルーツをもつ人々に対する差別やヘイトクライムが後を絶ちません。ところで、彼らに対置されるであろう「日本人」とは、どのような人々であるかを皆さんは説明できるでしょうか? 本講座では、国境画定作業が行われた明治初期の日本を素材として、どのように「日本人」をつくったのか、どのように「日本人」がつくられたのかを考察することで、現代日本における「多文化共生」を考える糸口にしたいと思います。

第3回 9月27日(火)
国民形成における包摂と排除:ミャンマーの事例
●今村 真央
(東南アジア史)

近代国民国家の大きな特徴は、国境と国籍を正確に定めることにあります。国民国家の形成においては、国境と国籍が確定されることで、包摂(インクルージョン)と排除(エクスクルージョン)の両方が同時に起こります。この過程では、原則として、国民として認められる人々は平等な構成員として包摂される一方で、国民として認められない人々は国家(国土)から追放されることになります。しかし、この原理原則が実際にどのように運用されてきたのかを検証するには、様々な事例を調べることが求められます。この講義では、東南アジアから多民族地域に生まれたミャンマーを例に取り、包摂と排除の変遷を辿ります。

第4回 10月4日(火)
移民(課題)大国としてのイギリス:国家統合・社会統合の失敗の観点から
●源島 穣(行政学・福祉国家論・現代イギリス政治)

大英帝国の名を馳せたイギリスはたくさんの植民地を抱え、戦後も旧植民地から移民をたくさん受け入れてきました。しかし、近年、イギリスは自国民と移民の分断に揺らぎ、移民を送り出してきたEUからも離脱してしまいました。なぜ移民に「馴れている」国だったはずのイギリスは移民を拒む国になったのでしょうか? 今回は国家統合・社会統合の失敗という観点から、イギリスの移民受入れとその帰結を説明します。それを先行事例として、移民の受入れを本格化させつつある日本の今後も考察します。

第5回 10月11日(火)
国際法上の人民自決権・国際人権法の可能性―ひとつの解となりうるか?
●丸山 政己(国際法)

20世紀後半以降の現代国際法は、国民国家からなる国際秩序を前提として、まさにナショナリズムと多文化共生の対立・競合関係のなかで展開してきたといってもよいように思います。領土保全原則を前提として、特定の集団・人民はどのような場合に分離・独立できるのか、できない場合であっても、国内においてそうした集団・人民の一定の権利を保障させる仕組みをどのように構築していくか、といった具合にです。本講義では、人民自決権や国際人権法の形成・発展・隘路の歴史をたどることで、多文化共生の可能性と課題について考えてみます。

山形大学
Yamagata University

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和4年（2022年）8月4日

公開講座「3D計測入門」

～3D計測技術の習得や、3Dの活用方法を考える体験型講座～

【本件のポイント】

●近年、進展が目覚ましく、利用も多岐にわたる三次元計測技術。演習を通して、3D計測技術の習得を目指す公開講座です。

●日常生活や自らの仕事で、どのようなことに活用できるかを参加者同士で議論することで、3Dの活用法を考えます。

●講師は白石哲也准教授（本学学士課程基盤教育機構担当）と三谷智広さん（株式会社パレオ・ラボ／同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター）の2名が担当します。

【概要】

近年、三次元計測技術の進展は目覚ましく、文化財保存や災害など、その利用は多岐にわたります。その背景には、以前のように高価な機器を使わなくても、比較的簡易に三次元計測が可能となったことが挙げられます。一方で、「どう活用すればいいのか」「そうは言ってもどうすればできるのか」などの初学者が抱える難しさもあります。そこで、本講座ではiPad/iPhone/Androidを用いて三次元計測技術の習得を目指し、その活用について考えます。

【開催要項】

日　時 ／ 9 月 24 日（土）10:00～16:00
会　場 ／ 山形大学小白川キャンパス人文社会科学部 1 号館 101 教室
受講料 ／ 2,000 円 ※支払い手数料（275 円）込み ※学生（大学生・大学院生・専門学校生）は無料
対　象 ／ 一般・大学生・大学院生・専門学校生
定　員 ／ 21 名
申し込み ／下記のホームページよりお申込みください（申込締切：9 月 15 日（木））
https://www.y-ex.jp/extension/post-32.html
※機材は、お持ちのスマホを使用します。当日は、アプリのインストールとデータ通信を行うことがあります。また、受講内容に応じて機材の貸し出しも行います。

講座の内容に関するお問い合わせ
学術研究院 准教授 白石 哲也（しろいしてつや） （考古学/学士課程基盤教育機構担当）
TEL 023-628-4164 メール tshiroishi@cc.yamagata-u.ac.jp

山形大学公開講座

「3D 計測入門」

～3D 計測技術の習得を目指して～

2022年9月24日(土)
10:00 ～ 16:00

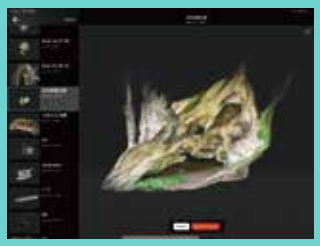
山形大学小白川キャンパス人文社会科学部1号館101教室

近年、三次元計測技術の進展は目覚ましく、高価な機器を使わなくても、比較的簡易に三次元計測が可能になりました。しかし「そうは言ってもどうすればできるの？」「どう活用すればいいの？」といった疑問も多いと思います。そこで、本講座ではiPad/iPhone/Androidを用いて三次元計測技術の習得を目指し、その活用について考えます。

■対　象　一般・学生（大学生・大学院生・専門学校生）
■定　員　21名
■受講料　2, 000円（支払い手数料275円込）　※学生は無料
■申込み　下記のホームページまたはQRコードよりお申込みください
（https://www.y-ex.jp/extension/post-32.html）
■締切り　2022年9月15日（木）

お申込み用
QR コード

担当：
白石哲也 (山形大学学術研究院)
三谷智広 (（株）パレオ・ラボ／　同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター)



■対象レベル（入門者向け）
・これから3Dを始めようと考えている方
・一度やってみたけど、よくわからなかった方
■必要なスキル
・スマートフォンやタブレットのアプリを問題なく使用できる

※機材は、お持ちのスマートフォンを使用します
※当日は、アプリのインストールとデータ通信を行うことがあります
※受講内容に応じて機材の貸し出しも行います

お問い合わせ先
山形大学エクステンションサービス推進本部
（Tel：023-628-4779）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和4年（2022年）8月4日

ソプラノ歌手の中江早希氏による公開講座を行います
～山形大学と山形交響楽団の連携による音楽教育推進事業～

【本件のポイント】

●ソプラノ歌手・中江早希氏による公開講座。
●平成29(2017)年度から実施している山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業。
●学生にとっては宗教音楽からオペラまで幅広く活躍するプロの音楽家から講座を受けられる絶好の機会。

【概要】

地域教育文化学部では、平成 29（2017）年度から山形交響楽団との連携による音楽教育推進事業として、山形交響楽団定期演奏会における招聘音楽家を本学に招き、地域教育文化学部文化創生コースの学生への公開講座を実施しています。

今回は、ソプラノ歌手の中江早希氏を講師としてお招きし「芸術科目から見る義務教育とは？～ソプラノ　中江早希からの視点～」と題した講演とともに、文化創生コースで声楽を学ぶ学生のレッスンをしていただきます。

学生にとっては、音楽界の注目を集めるプロの音楽家から講座を受けられる絶好の機会となります。

宗教音楽からオペラ、現代音楽まで幅広く活躍する中江氏のお話を伺える貴重なこの機会を、ぜひ地域のみなさまと共有したく、ライブ配信をいたします。

【開催情報】

日　時　　2022 年 8 月 8 日（月）13:00～16:00
会　場　　山形大学 文化ホール
山形大学学生のみ入場可能。一般の視聴希望の方は zoom 配信を予定しております。

【講師紹介】

©井村茂人

北海道上川郡鷹栖町出身。北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業。東京藝術大学修士課程音楽研究科声楽専攻独唱科、同大学院博士後期課程を修了。在学時、ハンス・アイスラーの歌曲を研究し、大学院アカンサス賞、三菱地所賞受賞。第 14 回日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門第 2 位。第 78 回日本音楽コンクールオペラ部門にて入選。第 12 回中田喜直記念コンクールにて大賞を受賞。第 25 回ハイメス音楽コンクールにて声楽部門第 1 位。第 3 回ジュリアード音楽院コンクール第 1 位。第 11 回東京音楽コンクール声楽部門第 3 位。第 27 回道銀芸術文化奨励賞受賞。

宗教音楽からオペラ、現代音楽のソリストを務めるほか、ドラマやゲーム音楽など多くの作品に歌唱として携わるなど幅広い活動をしている。また 2019 年から北海道上川郡鷹栖町ふるさと応援大使として活動をし、音楽活動を通じて鷹栖町の魅力を発信している。

中江早希氏 公式HP https://sakinakae.com

＜参考＞過去の公開レッスン開催日／講師
2019 年 7 月 21 日／指揮者 阪 哲朗 氏
2019 年 11 月 19 日／チェリスト・指揮者 鈴木 秀美 氏
2021 年 11 月 15 日／ピアニスト 舘野 泉 氏

お問い合わせ
学術研究院教授（地域教育文化学部主担当）　深瀬　廉
TEL　023-628-4330　　メール　fukaseren@e.yamagata-u.ac.jp